

実教出版「基本簿記演習 改訂版（第2刷）」本文記述更新のお知らせ

本書第2刷におきまして、下記ページ記載内容の更新（修正）を行いました。本書第1刷をお持ちの皆様には大変お手数ですが、更新内容をご参照の上、ご利用くださいますようお願い申し上げます。

ページ	箇所	第1刷（旧）	第2刷（新）
p.67	問4 2～4 行目	四国商事(株)は、決算にさいし、売掛金勘定の残高¥180,000に対して2%の貸倒れを見積もった。差額補充法により処理する。ただし、貸倒引当金勘定の残高が¥2,500ある。決算日は3月31日である。	四国商事(株)は、決算にさいし、売掛金勘定の残高¥55,000に対して2%の貸倒れを見積もった。
p.69	問11 決算整理事項	備品および建物（いずれも当期首に取得）について定額法により減価償却を行う。ただし、残存価額は備品・建物ともにゼロ、耐用年数は建物については20年、備品については6年とする。なお、記帳は直接法による。	建物および備品（いずれも当期首に取得）について定額法により減価償却を行う。ただし、残存価額は建物・備品ともにゼロ、耐用年数は建物については20年、備品については6年とする。なお、記帳は直接法による。